



ソフトバンク<9984>、ガンホー・オンライン・エンターテイメント<3765>をTOBで子会社化



ソフトバンクは傘下の携帯電話会社ソフトバンクモバイル（東京都港区）を通じて、ガンホー・オンライン・エンターテイメントをTOB（株式公開買い付け）により子会社化することを決議した。スマートフォン向けのゲームコンテンツ企画力や開発力を評価し、資本関係を強化する。

買い付け予定数の上限を議決権ベースで58.5%に設定しており、ガンホーは上場を維持する見通し。ガンホーの取締役会は今回のTOBに賛同する意見を表明している。ソフトバンクの孫正義社長の実弟で、ガンホー会長の孫泰蔵氏の資産管理会社アジアングルーヴがTOBに応募することで合意している。ガンホーの現在の筆頭株主はソフトバンクBB（所有割合33.63%）で、ガンホーはソフトバンクの持ち分法適用関連会社。

TOBの買付価格は1株あたり34万276円。TOBの買付予定数は7万3400株で、買付予定額は249億7600万円。公開買付期間は2013年4月1日から4月26日を予定している。